

環境県民局 資 料	No. 4
--------------	-------

令和4年6月9日
課名 環境県民局文化芸術課
担当者 課長 原田
内線 2722

広島県立美術館での「ひろしまナイトミュージアム」の 実施について

1 要旨・目的

広島県立美術館において、本年7月から、広島県ほか2者による共同主催により、「ひろしまナイトミュージアム」を実施する。

2 現状・背景

「ひろしまナイトミュージアム」は、広島県観光連盟が、観光客向けに広島ならではの夜の魅力づくりを推進する取組として、令和2年度から始めた事業の一つである。

美術鑑賞と演劇を組み合わせた新しい観光体験として、ひろしま美術館で日本初の取組として開始し、同館では、令和3年度において10回開催され、延べ214人が鑑賞、申込倍率は約10倍と好評を得ている。

こうした状況に鑑み、本事業について広島市内での拡大展開を行うこととし、この度、広島県立美術館において、所蔵作品を生かした同館の魅力・認知度向上に向け、実施することとしたものである。

3 概要

(1) 実施主体

広島県（広島県立美術館）、指定管理者（イズミテクノ・広島緑地建設・広田造園共同事業体）及びエクスペリサス株式会社

(2) 実施期間（日時）

月1回、土曜日の閉館後

17:30 開場、18:00～19:00 公演、19:00～20:00 自由観覧

【初回】令和4年7月30日（土）（6月30日（木）から観覧者の募集開始）

(3) 場所

広島県立美術館

(4) 実施内容

2階展示室において、所蔵作品展を演劇を通じたガイドを体感しながら鑑賞する。

【定員】各回25人（事前申込制） ※最小催行人数15人

【料金】1人6,000円

【あらすじ】広島県立美術館の警備員である主人公が、夜のミュージアムで作品を紹介していく。途中、ダリ、菅井汲、アウグスト強王（伊万里色絵花卉文輪花鉢の旧蔵者）に変化して演じる。

4 その他（関連情報等）

(1) 新型コロナウイルス感染拡大防止対策

来館者に対し、入館時の体温確認、マスクの着用、手指アルコール消毒等を依頼するなど、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を徹底して行う。

(2) 関連ホームページ

広島県立美術館ホームページ：<https://www.hpam.jp/museum/>

申込みページ：<https://www.xperisus.com/hiroshima-prefectural-art-night-museum2022>

Night Museum in 広島県立美術館

～ 一人の警備員が紡ぐ、世にも奇妙な物語 ～

2022.7.30(sat) - 2023.3.25(sat)

常設展鑑賞付き

役者とフォトセッション付き

ウェルカムドリンク付き

日程 | 7/30(土)、8/6(土)、9/24(土)、10/15(土)、
11/19(土)、12/3(土)、
2023/1/14(土)、2/18(土)、3/25(土)

※展示スケジュール等によって変更となる可能性があります。

場所 | 広島県立美術館

〒730-0014 広島県広島市中区上幟町2-22

開演時間 | 18:00 - 20:00 (受付は17:30より開始)

定員 | 各回25名 (事前申込制)

※最少催行人数：15名

入館料 | 一般 6,000 円(税込)

申込方法 | 専用ホームページ

URL : <https://www.xperisus.com/hiroshima-prefectural-art-night-museum2022>

お申込みはこちら



主催 | 広島県立美術館、指定管理者イズミテクノ・広島緑地建設・広田造園共同事業体、
エクスベリサス株式会社

Story

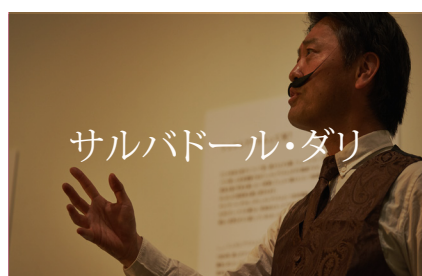
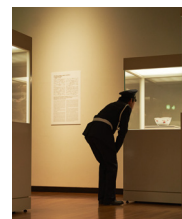
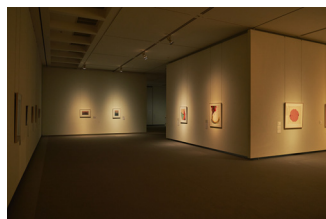
古今東西の代表的な美術作品を、 一人の警備員が紡ぐ、世にも奇妙な物語

ひろしまに夜の帳が降りる頃、物語はひっそりと舞台袖から始まります。

今回の主役は時代も背景も異なる二人の有名なアーティスト、サルバドール・ダリ、菅井汲と、一人のコレクター、アウグスト強王が旧蔵した柿右衛門様式の磁器作品。閉館後、ナイトミュージアムの警備をしていた一人の警備員に、いつの間にかダリ本人が乗り移り、話し始めます。

時には菅井汲が、そして時にはザクセン選帝侯かつポーランド王であるアウグスト強王が乗り移り、観客を魅了しながら、自分たちの作品を熱く説明します。

サスペンス要素が入った 少し大人のNight Museumを、「没入感」という新しいアート体験と掛け合わせてお楽しみください。



サルバドール・ダリ



菅井 汲



アウグスト強王

Scripwriter



脚本／泉 晟

1996年生まれ。大学時代に演劇と出会い、役者及び脚本家として活動。広島を中心に主に舞台脚本の制作を行う。第26回日本劇作家協会新人戯曲賞で最終6作品に選ばれる。代表作は「(一)変容する日々(二)燃料用ガスがあたえられたとせよ」

Cast



劇団 ゲンジョーブタイ

広島で活躍する劇団。2013年に旗揚げ。演劇では広島のほか、東京・大阪などでも活動。テレビ番組、映画、CM、ナレーションなどにも多くの実績を持ち、第26回劇作家協会新人戯曲賞では最終選考6作品に選ばれる。

Hiroshima Prefectural Art Museum 広島県立美術館

広島市の中央部に位置し、緑豊かな国の名勝 縮景園に隣接した美術館。広島県ゆかりの美術、日本及びアジアの工芸、1920~30年代の美術など、5000点を超える作品を収蔵、展示している。

【お問い合わせ】



エクスペリサス株式会社

TEL : 03 - 6451 - 1443 MAIL : support@xperisus.com